

α-ピサポレンシンターゼ

Cat. No. EXWM-5196

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 この細胞質セスキテルペノイドシンターゼは、二価カチオン補因子（Mg²⁺または、より少ない程度でMn²⁺）を必要とし、二リン酸離脱基の負の電荷を中和します。生体内ではプラスチドに局在しているため、ゲラニル二リン酸（GDP）に遭遇する可能性は低いですが、この酵素はin vitroで基質としてGDPを使用して(+)-(4R)-リモネンを生成することができます【参照：EC 4.2.3.20、(R)-リモネンシンターゼ】。この酵素は、幹の傷害に□答して、グランドファーAbies grandisの防御機構の一部として誘導されます。

別名 ピサポレンシンターゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 4.2.3.38

反□ (2E,6E)-ファルネシル二リン酸 = (E)-α-ピサポレン + 二リン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。